

平成30年度

丹波篠山黒豆・山の芋情報

大雨対策臨時号 平成30年7月9日 篠山市・JA丹波ささやま・丹波農業改良普及センター

梅雨前線の影響に伴う大雨により、7月4日～7日にかけて350mm～400mm程度の降雨量がありました。

今後、ほ場の冠水による生育停滞や倒伏、茎葉の傷みなどが発生する恐れがありますので、以下の点について対策を行ってください。

【今後の栽培管理】

1. 黒大豆及び山の芋対策(共通)

- ①ほ場に停滞水がある場合は、谷をさらえ、排水溝や排水口の整備を行い、早急にほ場の排水を図る。
- ②風雨により傷口等に泥のついたところから、病原菌が侵入しやすくなるため、茎葉がもまれた場合は、殺菌剤の散布を行い、病気の予防に努める。

(防除薬剤) Zボルドー(水和剤) 500倍

2. 黒大豆の対策

- ①倒伏した株は、無理に起こさない。
- ②枯死株は抜き取りを行い、ほ場外へ持ち出し処分する。
- ③土壌の多湿状態が長く続くと、根系が酸素不足となり、根粒菌の活動が抑制されることから、土壌条件が良くなったら中耕により通気性を良くし、根や根粒の発生を促す。また、亜リン酸粒状1号またはホスプラスを株元に施用する。